

議会報告

■都市整備建設委員会質疑(平成24年度11月21日)

地下鉄の女性専用車両について

質問：首都圏のJR、私鉄、公営地下鉄などの女性専用車両導入については、公明党として強く推進。我が会派でも、前山口市議が平成19年第4回定例会で質問しました。そのきっかけとなったのは、一人の女子学生からのお声でした。お友達が電車内で痴漢に逢い、その時以来怖くて電車に乗れなくなり、ぜひ女性専用車両を導入してほしいとの訴えでした。そのことを受け、公明党女性議員でJR仙台駅前、地下鉄泉中央駅前をはじめ市内7ヶ所などでアンケート調査を行いました。その結果、25%の人が車内で痴漢の被害に遭ったことがあり女性専用車両やレディースシートの導入は80%が賛成でした。その現状を踏まえ強く求めてきたところです。その当時の当局の答弁は、「4両編成のため、現時点での導入は難しい。レディースシートについては、十分に研究してまいりたい。」がありました。当委員会の横浜市、神戸市の視察を踏まえ、特に神戸市は、4両編成でも、終日・全日導入している。女性を対象とした痴漢、盗撮、男性醉客等による嫌がらせなどの迷惑行為が現実としてなくならないことを踏まえ、女性を保護するという観点のもとに導入に至っている。さらに、車いすご利用のお客様など対象者を拡大して、配慮が必要な方々への対応をしている。東西線開業に向けて、早急にサービス向上のためのアンケート調査を行い、試験的に実施すべきと訴えました。



答弁：女性専用車両は、痴漢防止に有効であると認識している。導入には、課題があるが、アンケート調査し総合的に検討したい。

活動・視察

- 仙台市内で12月18日、東日本大震災被災地の障がい者らを応援しようと、字幕や音声ガイドの付いた「バ



リアフリー映画」の特別試写会が開催。これは、民間企業で主催し、都議会公明党と党宮城県本部も開催を後押ししてきました。会場では、宮城県知事の舞台あいさつがあり、視聴覚障がい者や仮設住宅に暮らす被災者、一般参加者など約300人が映画を楽しみました。上映終了後、偶然にも、感想を伺った方が、多大なご支援をいただいている方でした。「今回、バリアフリー映画を見るのは初めてでしたが、心から楽しむことができました。画面を音声で詳しく解説してくれるおかげで、見えなくても、スクリーンに打ち出されている情景が、ありありと思い浮かんできました。今後もバリアフリー映画を広く上映していってほしいものです。」とお話しされ、楽しんでいただいた感動が伝わり、とても嬉しい語らいとなりました。

- 昨年12月、市営地下鉄と市営バスの優先席に「ハート・プラスマーク」が表示されました。ハート・プラスマークとは、内部障がい(心臓・腎臓等)があることを示すマークで、我が会派では、人工透析のためバスで通院している患者の声を受け、内部障がいに対する市民の意識を高めるために、議会質問等を通してその実現を訴えてきました。(市政だより1月号に掲載)



- 岩沼市のメガソーラー事業の取り組みを視察(11月20日)

● 1月5日仙台中央卸売市場業務開始式
● 1月6日消防出初式。婦人防火クラブの皆様の行進。

● 平成25年1月8日緑ヶ丘4丁目地区の住民説明会

昨年12月21日付けで、防災集団移転促進事業の事業計画について国土交通大臣の同意が得られ、事業計画やスケジュール等の説明がありました。鹿野復興公営住宅の入居は平成26年4月頃予定で、これから目に見えての本格的な事業が進んでいきます。

- 昨年11月7日、8日に都市整備建設委員会で横浜市、神戸市の市営地下鉄事業の取り組みを視察しました。横浜市営地下鉄あざみ野駅の「あざみ野赤ちゃん休憩室」。ここは「駅周辺の商業施設に授乳室がない」との市民の声に平成18年5月に開設。



神戸市営地下鉄の女性専用車両。

- 津波で被災した若林区荒浜の荒浜小学校視察。現在、緊急避難所になっている。(12月18日)

